区分:Ⅲ

号機	3号機
件名	排気筒付近(屋外)におけるけが人の発生について
不概合要	平成 21 年 2 月 4 日午後 1 時 45 分頃、3 号機排気筒付近(屋外)において、排気筒基膜部の地盤改良工事を行っていた協力企業作業員が、工事に使用するコンクリート注入装置の送気ホースが詰まったため、ホースを外して中の詰まりを洗浄していました。空気圧をかけてホースから空気が出ることを確認していたところ、空気圧の反動で当該作業員が転倒し、ホースの中に残っていた固化剤(セメント系)が飛び出し、洗浄場所から約 20m離れた場所で別の作業をしていた協力企業作業員の右目に当たりました。発電所内の健康管理室で目の洗浄を行いましたが、違和感が残ったため、業務車にて病院へ搬送しました。
安全上の重 要度/損傷 の程度	<安全上の重要度> <損傷の程度> 安全上重要な機器等 / その他設備 ■ 法令報告不要 □ 調査・検討中
対応状況	診察の結果、眼球に傷はなく、びまん性表層角膜炎(通院加療の必要はなし)と診断されました。 今後は、作業箇所周辺に飛散防止のための養生などの安全処置を施してから作業を行うこととします。